

## 平成27年度子どもの権利救済・回復活動を報告



報告書を谷井市長に提出する救済委員の山本裕子さんと市川雅美さん（左から）

6月24日に、市子どもの権利救済委員が「平成27年度宗像市子どもの権利救済・回復活動報告書」を谷井博美市長に提出しました。

むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」が開設されて3年目。きめ細かい広報啓発活動を継続実施した結果、平成26

度と比較すると、子どもによる相談室の認知度は83%から95%に、相談人数は69人から103人に、新規相談人数は62人から92人に大きく増加しました。また救済申し立て案件が1件ありました。

子ども本人からの相談や、匿名での相談が増加していて、交友関係（いじめを除く）・家族関係・学校生活の悩みの相談が多くありました。

子どもの権利相談室では、子ども一人一人の声に耳を傾け、子どもたちが抱えるさまざまな悩みについて相談を受け、子どもと一緒に解決していきます。

\*同報告書は市HP<http://www.city.munakata.lg.jp/>→「むむハグ」→ハッピークローバーのバナー→「子どもの権利救済・回復活動報告書」で確認を

■問い合わせ先  
▽むなかた子どもの権利相談室「ハッピークローバー」(子ども家庭課内)  
☎(36)9094 FAX(37)3046  
▽子ども専用フリーダイヤル ☎0120(968)487

## 議員座談会報告書 しっかり受け取りました



久芳昭文副市長、谷井市長、吉田議長、花田副議長(左から)

市議会の吉田益美議長、花田鷹人副議長から「議員と語ろう！」議員座談会の報告書が

7月14日、谷井博美市長に提出されました。平成22年から議会報告会として始まり、今年

5月に大島、河東、吉武、3つの地区コミュニティで開催されました。

今回提出された議員座談会報告書は、参加者の貴重な意見や要望が集約されたものです。議員のみならず、地域に出向き、参加者と直接意見交換することは、

■問い合わせ先  
秘書政策課  
秘書担当  
☎(36)0890

## 食べて応援！博多女子高等学校生徒による南阿蘇物産品販売in道の駅むなかた



道の駅での募金と販売の様子

道の駅むなかたは、これまで熊本地震被災地支援活動として「道の駅七城メロンドーム

(熊本県菊池市)」の特産品であるメロンとすいかを販売するなど、道の駅同士の交流活動をしてい

ます。今回は、博多女子高等学校の生徒が7月2日、道の駅「あそ望の郷くぎのあじわい館」の物産品の販売と募金活動を道の駅むなかたで実施。炎天下の中、生徒8人と先生4人で来訪客へ積極的に声を掛けていまし

■問い合わせ先  
商工観光課  
☎(36)0037

## 久留米工業高等専門学校説明会

日時 10月2日(日) 午後2時  
会場 天神ビル本館11階・会議室(福岡市中央区天神2・12・1)  
対象 中学3年生、保護者、先生など  
内容 ①同校の特色・各学科の紹介 ②入学試験日程などの説明 ③個別相談  
\*事前申込不要  
■問い合わせ先  
同校学生課  
☎0942(35)9442

## 伝言板

### 宗像教職員文化作品展

日程 9月11日(日) 同18日(日)  
\*同12日(月)は休館  
時間 午前10時~午後5時  
\*9月11日(日)は午後1時開館、同18日(日)は同4時開館  
場所 宗像ユリックス・美術ギャラリー  
内容 宗像、福津市の小・中・高校の教職員とOB・OGの合同展。絵画、写真、書、生活記録など、日常生活や教育現場の中から

### 集え！ストーリー トミュージシャン「路上チャレンジ」

生きたいろいろな作品を展示  
入場料 無料  
\*市、市教育委員会後援  
■問い合わせ先  
同作品展実行委員会事務局  
☎(36)2203

日程 8月21日(日)、10月23日(日)、11月6日(日)、平成29年3月12日(日)  
時間 午後2時~同4時  
場所 JR久留米駅東西自由通路  
対象 気軽にストーリート演奏に挑戦したい個人とグループ

### 熊本地震被災者への無料法律相談

人とグループ登録料 無料  
\*詳細は問い合わせ先  
\*登録・問い合わせ先  
公益財団法人久留米文化振興会くるおん「路上チャレンジ」係(石橋文化センター内)  
☎0942(33)2209  
\*受付は月~金曜日の午前9時~午後9時、土曜日の午前9時~午後5時  
▽法テラス福岡  
☎050(3383)5501  
\*受付は月~金曜日の午前9時~午後5時

## モデルコミュニティ健康スポーツdeハッピー事業・報告会



多くのみなさんが参加した報告会の様子

平成27年9月から同28年3月まで、赤間と陵厳寺の自治会で実施した同事業の報告会を

九州国際看護大学教授の乗越千枝さんによる事業報告に、真剣に耳を傾けていました。

6カ月間の測定に大きな優位差は見られませんが、本来年齢とともに落ちるとされる体力や筋力の維持につながりました。

■問い合わせ先  
文化スポーツ課  
☎(36)1540